

ちよつと止まって夢を見た

バスを 待ちながら

「母とチヨレイト」の
フアン・カルロス・タビオ監督作品

★2000年カンヌ国際映画祭「ある視点」部門正式出品作品
★2000年新ラテンアメリカ映画祭グランプリ／最優秀脚本受賞

キューバのある町のバス待合所には、
来るあてのないバスを待ち続ける人々がいた。
はじめはバラバラだった彼らの心が、
やがて一つのしあわせでつながっていく。
爽やかな笑いと音楽にのせて、
あたたかい感動を呼び起こす珠玉の名作



LISTA DE ESPERA

ウラジミール・クルス／タイミ・アルバリーニョ／ホルヘ・ベルゴリア 監督・脚本★フアン・カルロス・タビオ 共同脚本★アルトゥーロ・アランゴ／セネル・バス
原作★アルトゥーロ・アランゴ 音楽★ホセ・マリア・ビティエール 挿入歌★レネ・バーニョス（ボーカー・サンプリング）
2000年／キューバス・ベイン＝フランス＝メキシコ合作／カラー／106分／ドルビーデジタル 配給★シネカノン

www.cqn.co.jp



自分の暮らしを貧しいと嘆くか、あるいはそれほど苦にじていないかで、その人の貧しさが決まるのだと思う。
 なかなか来ない長距離バスを、大勢の乗客たちがひと晩もふた晩も待ち続けるという恐るべき事態を、
 この映画の作者は「まあそういうこともあるさ」と笑い飛ばしながら、さまざまな人間ドラマを手並み鮮やかに描き出す。
 自分の国をよほど愛していなければこんな愉快な映画は作れないだろう。
 まさしくキューバならではの喜劇なのである。

山田 洋次

(映画監督)



バスを待ちながら

LISTA DE ESPERA

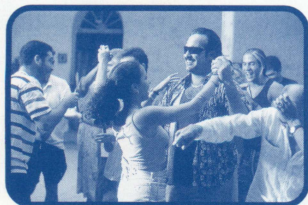
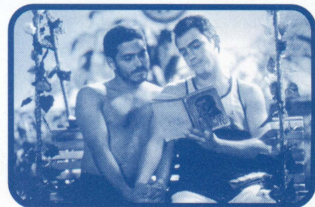


¿El último?



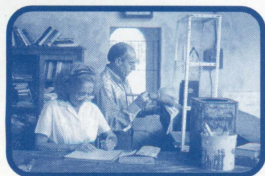
胸にしみ入る "本当のしあわせ"と"生きる希望"

いつの世の中でもバス停には、それぞれの物語を胸に抱えた人々が集まって来る。そしてキューバ名物とも言える“行列”をモチーフに、様々な人種が混在するキューバならではの物語が描き出すのは、どの国のどの人種にも共通する“人と人のつながり”という普遍的でありながら、今、現実社会では最も希薄になりつつあるテーマだ。キューバ庶民の素顔と日常生活、そして彼らが置かれた厳しい社会状況を、爽やかな笑いと音楽にのせて丁寧に描きながら、心のユートピアをファンタジックに提示して、胸にしみ入るようなあたたかい感動を呼び起こす。観る人すべてに、日常生活の合間で忘れてしまいがちな“本当のしあわせ”や“生きる希望”を思い出させてくれる珠玉の名作だ。



不朽の名作『苺とチョコレート』の メンバーが再び集結

フアン・カルロス・タバコ監督と主演のウラジミール・クルス、ホルヘ・ベルゴリアの黄金トリオの他、脚本セネル・バスや音楽ホセ・マリア・ビティエールなど再び『苺とチョコレート』のチームが集結。2000年カンヌ国際映画祭の「ある視点」部門に出品されて絶賛を浴び、新ラテンアメリカ映画祭でグランプリと最優秀脚本賞を受賞している。またアルトゥーロ・アランゴの原作「Lista de Espera (The Waiting List)」は、94年にコロンビアのカルロス・カストロ・サーベドラ国際賞を受賞。間もなく日本での新譜発売と来日も予定されている人気アカペラ・グループ、ヴォーカル・サンプリングのメンバーが挿入歌で参加しているのも話題だ。



4/6(土)～19(金)ロードショー!

扇町ミッドエジアム

ホワイティ 梅田泉の広場 M-10階段右上がる東へ5分
電話: 06-6361-0088 www.oms.gr.jp

4/6 (土) ~ 12 (金) 11:00/13:05/15:10/17:15/19:20

4/13 (土) ~ 19 (金) モーニング&レイトショー (11:00/20:15)